

平成14年度地球温暖化防止活動大臣表彰受賞者

技術開発・製品化部門

	件数	区分	自治体	企業	民間団体等
申請者数	7	自薦	1	3	2
		他薦		1	
受賞者数	1	自薦			1
		他薦			

受賞者	功績
全国友の会	省エネのため、途中まで火にかけた料理に綿入れ帽子をかぶせて保温調理を行う鍋帽子を開発。レシピなど料理の工夫とあわせ、全国各地で講習会を開催するなど、地域への普及を積極的に行い、家庭からの温暖化防止活動を推進。

対策技術普及・導入部門

	件数	区分	自治体	企業	民間団体等
申請者数	16	自薦	5	1	
		他薦		6	4
受賞者数	5	自薦			
		他薦		2	3

受賞者	功績
八ヶ岳環境対策協議会	山小屋から排出されるし尿・生活排水と未処理のまま地下浸透させている現状をあらため、環境に配慮した合併処理浄化槽を設置。その稼働電力には、太陽光・水力・風力など環境にやさしい自然エネルギーを積極的に利用。
札幌市水産物卸売協同組合 札幌青果卸売協同組合	市場の構内運搬車（約800台）を二酸化炭素排出量の少ない天然ガス自動車へ段階的に変更。燃料供給施設の整備等により、周辺地域の天然ガス自動車の導入を促進させ、温暖化防止に貢献。
東北エプソン株式会社	永年にわたり省エネ、ゼロエミなど環境保全活動に取り組み、特に地球温暖化防止活動としては、コジェネレーションシステム導入、新工場建設時の省エネ対策、生産機器エアリーク対策など、社員全員参加による積極的な活動を推進。
佐川急便株式会社	天然ガス自動車の大量導入と、導入を支える自家用CNGスタンドなどのインフラ整備を推進。また、輸送の効率化として、長距離幹線輸送を鉄道や船舶に転換するモーダルシフト化を積極的に推進。
株式会社石井和紘建築研究所	建築から地球温暖化防止への提案の具現化として現地産の丸太20種主体の総合福祉会館を建設。約500トンのCO ₂ を固定。同面積のRC構造建築物に比べ、1年間で約1千万円の電気料を節約、上空より建築がCO ₂ と読める。

対策活動実践部門

	件数	区分	自治体	企業	民間団体等
申請者数	24	自薦	4	2	
		他薦		3	15
受賞者数	5	自薦			
		他薦		1	4

受賞者	功績
長井市立豊田小学校	「地球に優しいまちづくりを学校から考える」をスローガンに、身近な省エネを中心とした環境保全活動の実践と啓発を積極的に行い、家庭・地域に根付いた取組を推進。
特定非営利活動法人 家庭の環境管理・監査 人協会	オリジナルの環境家計簿「暮らしのダイエットノート」に、協会が認定する監査人の客観的な評価と助言を取り入れ、市民が継続的に参加できる温暖化防止の取組を積極的に実践。
代沢地区エコライフ実践活動推進委員会	地球温暖化防止に対する地域からの行動として、代沢地区の住民が委員会を組織。地区の住民全世帯を対象に、セミナー開催等による普及啓発活動やエコライフ実践活動を積極的に推進し世田谷区全域の環境活動の礎となる。
京のアジェンダ21 フォーラム	市民・事業者・行政の協働で策定した「京のアジェンダ21」を推進するため、多様な主体の参画のもと、企業活動、環境にやさしい交通体系など、テーマ別ワーキンググループを設けて協議、社会実験等を実施。地域ぐるみでの積極的な温暖化防止対策を推進。
宝酒造株式会社	永年、自社製品のリサイクル等に取り組んでいるが、特に、平成10年から導入した「 ^{りょくじ} 緑字決算」は、第三者の意見を求めたり、インターネットにより社会の意見を反映させるなど、全国的に高い評価を受けており、環境会計作成の手本となっている。

環境教育部門

	件数	区分	自治体	企業	民間団体等
申請者数	12	自薦		3	3
		他薦		1	5
受賞者数	3	自薦			
		他薦		1	2

受賞者	功績
株式会社エコトラック	天然ガス自動車のみを採用した運送会社を設立して運送事業を営む傍ら、子供たちを対象とした天然ガス自動車の出張見学会を開催し、地球温暖化防止に向けた環境啓発にも積極的に取り組んでいる。
栃木県立宇都宮工業高等学校	環境に優しい工業技術者（グリーンエンジニア）の育成を目指し、全国の学校に先駆けISO14001を取得。学校全員が積極的に参加できる実践プログラムを確実に実行しているほか、実践活動を通じた地域交流にも積極的に取り組んでいる。
和歌山県高等学校教育研究会工業部会 EV ENJOY TRIAL実行委員会	工業科を有する県立高校の教員と生徒で構成され、永年にわたり省エネ、クリーンエネルギーの有効利用に積極的に取り組んでいる。さらに、全国電気自動車競技会を主催し、エネルギーの有効利用につながるモノ作りの奨励、技術の向上及び地域での環境啓発・交流などを図る。

学術部門

	件数	区分	自治体	企業	民間団体等
申請者数	3	自薦			
		他薦			3
受賞者数	1	自薦			
		他薦			1

受賞者	功績
中澤 高清（東北大学大学院理学研究科大気海洋変動観測研究センター）	大気中の二酸化炭素濃度を世界の最高水準の精度で分析できる装置を開発し、70年代から観測を開始。その後、他の温室効果ガスや二酸化炭素の安定同位対比の観測を次々と立ち上げ、幅広い温室効果ガスの観測態勢を構築。

国際貢献部門

	件数	区分	自治体	企業	民間団体等
申請者数	3	自薦		1	
		他薦			2
受賞者数	0	自薦			
		他薦			

受賞者	功績
該当者なし	